



2月2日
愛媛いよかん大使が表敬訪問
愛媛県産のいよかんPRのため愛媛いよかん大使が、市長を表敬訪問しました。



1月27日
第20回熊谷めめま駅伝大会
穏やかな晴天にも恵まれ、中学生と一般の、計171チーム855人のランナーによる、12.1km(5区間)のレースが、妻沼中央公民館を発着点として開催されました。

2月1日～7日
夢いっぱいアート展

妻沼展示館大展示室で、市内小・中学校特殊学級と近隣の養護学校に通う児童・生徒の作品展が開催されました。



■平成19年度版
「熊谷市くらしのカレンダー」
ができました。

家庭ごみの出し方や保健に関するお知らせ、市の年間行事などを掲載した「熊谷市くらしのカレンダー」をお配りします。

自治会・区を通しての配布のほか、市役所、各行政センター、各出張所、公民館、熊谷駅・籠原駅の連絡所等でお配りしています。

※4月から来年3月までの年度版です。
◆広報広聴課 ☎内線206



1月27日
第27回フォーラムくまがや2007

文化センター文化会館で、「自分を生きるということ」をテーマに、ノンフィクション作家吉永みち子氏による講演会が開催されました。



来賓としてあいさつをする富岡市長

1月27日 **江南町閉町式**

江南町の閉町式が、総合文化会館ピピアで、厳かに挙行されました。会場の皆さんが見守る中、静かに町旗が降納され、52年の歴史に幕を閉じました。



高城神社



妻沼聖天山

2月3日
節分「豆まき」

節分にあたり、高城神社と妻沼聖天山で豆まきが行われました。

2月7日
だるま市

星川通りで、恒例のだるま市が開かれました。このだるま市は、江戸時代に熊谷宿の繁栄を願って始められたと言われています。



1月21日 **第4回熊子連かるた大会**

熊谷市民体育館で、ジュニアリーダー122人の進行・審判のもと、約600人の小学生選手が、かるた取りを競いました。

おにぎりパレット

市報クイズ1月号の応募で寄せられたご意見を紹介します。

テーマ **「卒業シーズンの思い出」**

- 私の小学校は、卒業後、東西の中学校に分かれて進学することになっていました。卒業式にはみんなで別れを惜しんで大泣きし、「今後もずっと友達でいようね」と誓った記憶があります。(20代・女性)
- 卒業式の日、いつもは厳しかった先生の涙を見たときに本当の優しさを感じました。あれから40年余りが経ちますが、毎年先生からの年賀状をいただき、元気でいらっしやることに感謝しています。(50代・女性)
- 私は事故で高校を休学していたので留年してしまいましたが、けがも治り、無事卒業できたので本当に嬉しかったです。(40代・男性)

- 子供の卒園の歌「思い出のアルバム」は、今でも歌うと涙が出てきます。(60代・女性)
- 小学校の卒業アルバム実行委員をしていて、放課後に残って仕事をしていると、担任の先生が温かいお茶をいれてくれました。今でも、その時のお茶のおいしさと先生の温かさは忘れられません。(20代・女性)

3月は卒業の季節。卒業時期の思い出は、青春時代の1ページとして、皆さんの心に美しく刻まれているようです。
市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

① 挑戦 ② だるま市

応募総数 28 通中、正解 27 通

裏

答え
住所
氏名
年齢
電話番号
今月のテーマ
私の好きな市内の公園

《応募方法》ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマについてのコメントを記入の上、3月22日(木)までにご応募ください(1人につき1通)。(Eメールアドレス) kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

表

3608601
熊谷市宮町二丁目47番地1
熊谷市役所
広報広聴課 まで

《1月号の正解》

《今月号の問題》 次の□に入る言葉を、それぞれお答えください。 ①安全で、安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指す、□のまちづくり推進条例が、4月1日から施行されます。 ②昨年誕生した、熊谷市の新名物「□くま」。今夏からの新規加盟店を募集します。 《今月の景品》 創業110周年、八木橋百貨店ご提供の、商品券千円(分)を、正解者の中から抽選で20人に差し上げます。

見本

市報クイズ

今月のテーマ「私の好きな市内の公園」についていただいたコメントは、市報や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

県内一の生産量を誇る 熊谷市の名産「ヤマトイモ」を、 ぜひご賞味ください。

熊谷市は、全国に誇るヤマトイモの一大産地。ヤマトイモは、いろいろな料理にも使え、栄養も豊富な健康野菜です。今回、市政モニターの野村さんご夫妻にご協力をいただき、ヤマトイモについてのお話しをうかがいました。

農業振興課 内線442



ヤマトイモ生産の歴史

埼玉県北部では、明治初期からヤマトイモが栽培され始め、熊谷市では、明治25年に現在の形のもとなる「イチヨウイモ」が種いもとして生産され始めました。後に、食用栽培に変わるとともに、作業の機械化が進み、昭和44年頃には、大型冷蔵庫などが導入され、周年出荷が可能となり、多くの農家がヤマトイモを生産するようになりました。

ヤマトイモに適した土地とは

ヤマトイモは「化け芋」と呼ばれるほど、その土地の性質によって、形を変えるイモです。熊谷市のヤマトイモ生産地域では、利根川の上流から

運ばれた、栄養分が多く、水はけがよく、やわらかい性質の土のおかげで、肉厚で、粘り気の強いおいしいヤマトイモができました。

ヤマトイモの栄養価は

ヤマトイモは濃厚な味で、栄養価の高い滋養強壮食です。粘り気が、植物繊維として働き、整腸作用に役立っています。便秘などの生活習慣病の予防にも役立ちますので、食事に取り入れてみてはいかがでしょうか。



掘りたてのヤマトイモ

<生産農家に聞く>

野村孝光さん (市政モニター・妻沼小島)



利根川の恵みでもあるヤマトイモは、味も良く栄養価も高い野菜です。すりおろして食べるだけでなく、いろいろな料理に応用できますので、地元市民の皆さんにぜひ食べていただきたいですね。

レシピ紹介 ヤマトイモのキムチあえ



ヤマトイモは生でも食べられる珍しいお芋です。ざくざくっと切って、市販のキムチの素であえるだけで、ちょっとしたおかずの出来上がり。また、お酒のお供にもぴったりです。梅肉であえたり、梅酢で漬けておいてもおいしくいただけます。

ヤマトイモQ&A

- 保存方法は？
A 冷蔵庫の野菜室でOKです。乾燥しないように湿った新聞紙にくるんでビニールに入れておけばしばらくは大丈夫。土付きの方が長持ちします。
- 手がかゆくなりませんか？
A 酢を倍くらいの水で薄めた酢水を手に付けながら作業してみましょう。
- 皮を剥きやすくする方法はありますか？
A 包丁で剥きにくいカーブのある芋は、スプーンで剥いてみましょう。皮付きのまま食べる方法もあるので、少くらい皮が残っていても大丈夫です。
- いつごろ収穫するの？
A 4・5月にヤマトイモを切った種芋を植え、10月頃から3月まで収穫します。
- 棒状と手のひら状があるのはなぜ？
A 雨が多い年は棒状となり、晴天の多い年は開く傾向にあります。味は変わりません。

「雪くま」加盟店を募集します



昨年誕生したかき氷「雪くま」が、今年もやってきます。現在、13店舗が参加していますが、江南地区も加わり魅力アップした熊谷のいたるところで「雪くま」を食べられるようになったら、あついまち熊谷が、さらに盛り上がることでしょう。

そこで、今夏からオリジナルの「雪くま」を開発し、提供してくれる新規参加のお店を募集します。個性豊かなたくさんの方の雪くま仲間をお待ちしています！

「雪くま」のコンセプト

- ①熊谷の美味しい水で作られた貴目氷を
- ②雪のようなふわふわの食感に削り
- ③オリジナルシロップやトッピングのかき氷であること

応募資格 市内飲食店

作品規格 「雪くま」のコンセプトを満たしているもの

応募方法 ハガキに住所・氏名・店舗名・電話番号を明記の上、左記へ。

応募期限 3月27日(火)

作品の選定 5月1日(火)、試作品を作成していただき、熊谷ブランド審査委員会が選定します(予定)。

結果報告 5月7日(月)、応募された方全員にお知らせします。



応募先 左記へ。

企画課 市役所3階(内線215)
〒360-8601
宮町二丁目47番地1

今月の料理人は沼黒の
黒沢 稔枝さん

●ひな祭りの一品にぜひどうぞ!! 菜の花と鶏ささみの からしあえ

④ ①②③をよく混ぜ合わせ盛り付けて、いりごまをかけて出来上がり。



農業振興課 内線442

一言アドバイス

独特なほろ苦さを持つ菜の花は、カルシウムやビタミンも豊富。緑が濃くみずみずしいものを選びましょう。あえるささみは、ゆで汁につけたまま冷ますと、しっとり食べやすく仕上がります。

健康づくり課
528-0601

地場産農産物で Oh!フレッシュ クッキング

■材料(6人分)

菜の花.....400g
鶏のささみ...200g

砂糖.....20g
醤油.....70cc
酒.....少々
からし.....大さじ1

■作り方

- ①菜の花は、たっぷりのお湯に塩を少々入れ、少しかために茹でて水にさらし、軽く絞って4cm位に切っておく。
- ②鶏のささみは、①のお湯を使い中火で5分位茹でる。茹でたらザルにあけ、冷ましてから手で小さく裂いておく。
- ③調味料を合わせておく。

白球に夢を追って

第88回全国高等学校野球選手権大会出場選手

3年 塩沢 佑太さん (下奈良)
3年 不破 卓哉さん (箕輪)
3年 小林 丈泰さん (市ノ坪)



小林 丈泰さん 塩沢 佑太さん 不破 卓哉さん

野球との出会い
塩沢 小さい頃に父とキャッチボールをしたという記憶が、グローブとボールに触れた一番古い思い出です。本格的に野球を始めたのは中学校からで、部活としての野球とボーイズリーグを掛けもちしていました。平日は部活、土日はボーイズ

リーグといった感じで野球とのつながりを深めました。**不破** 父が野球好きということもあって、小学校1年生から少年野球団に入団しました。それから自然な流れで中学校の野球部に所属し野球にかける思いを養いました。**小林** 野球は父の影響で幼稚園からキャッチボールを始めました。中学校では軟式野球部とボーイズリーグの硬式野球を掛け持ちし、両方の長所を合わせた技術を身に付け、高校野球への憧れを強めました。**帝京高校野球部での経験**
塩沢 野球部での3年間は本当に意義深いものになりました。練習は試合に勝つて当たり前という前提のもとで行われますから、精神的な強さや集中力、忍耐力などが身につきました。なにがなんでも勝つというこだわりが生まれました。**不破** 野球の練習をこなすことを考えればどんなことにも耐えられると思えるようになりました。普通の練習であつても精神的にプレッシャーをかけられ、心身ともに疲れるんです。そんな練習の中から礼儀や忍耐、集中力が培われたと思います。**小林** 運動部ということもあり、厳しい規律の中で言葉使いや礼儀などを勉強できましたし、3塁コーチを任せられ、自分の判断が大きく勝敗に影響することを知り、練習試合で経験を重ね、相手チームの観察を怠らないように努めてきました。野球部での3年間は長く感じましたが、今から思うとあつという間でした。**甲子園出場と試合**
塩沢 甲子園出場にかけるといひは最後の夏ということもあって「どうしても」という気持ちでした。甲子園ではとにかくチームの勝利が最優先ですから、自分が必ず打つてみせるという強い気持ちで芽生えました。今から思えば甲子園は実力以上のものを発揮させてくれた特別な場でした。

甲子園の後、日米親善高校野球大会の日本選抜チームにも招集され、素晴らしい仲間たちと出会うことができました。



如水館高校戦で勝利を納めた帝京高校野球部

小林 甲子園は本当に素晴らしい場所だと思います。客席から聞こえる声援はものすごく、鳥肌が立ちましたし、チームの勝利の為に、とにかく仲間を信じ自分の仕事をしっかりとやりぬこ

うと思い、失敗を恐れず強気で望めました。甲子園出場は自分にとって大きな財産になったと思います。

卒業、そしてこれから

塩沢 甲子園出場、日米親善試合を経て、自分のことを心から応援してくださる人がたくさんいることを知りましたね。地元の方がたはもちろん、知り合いのそば屋さんなんて鯛を用意して待っていてくれましたよ。野球をやっていて本当に良かったと思います。ですから、体が動く限り野球を続けたいと思います。大学へ進学しても頑張りたいです。**不破** 大学に進学し野球を続けたいと思います。やるからには上を目指したいという気持ちが強いですが、将来的に子どもたちに野球を広める指導者になりたいですね。夢であった甲子園に出場してわかったことですが、夢を持ち実現するという素晴らしさを伝えられればと思います。**小林** これからは大学に進学し、野球を指導できる体育教員を目指したいと思っています。自分の教え子たちと一緒にもう一度甲子園の土を踏むことが夢ですね。その為に、大学でも野球を続けながらスポーツの知識をより深く勉強し、いろいろな面で成長したいと思っています。

人口と世帯 ●平成19年2月1日現在 (対前月比)

■人口 194,703人(-62) 男 97,613人(-51) 女 97,090人(-11) ■世帯 75,241世帯(-31)

「市報くまがや」は、自治会や区を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/> 「市報くまがや」は毎月1日(原則)に発行します。